

地域にはばたく市民パワー！

ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2016 年 2 月号（第 91 号）

発行責任者 稲村 洋二

**倶楽部の在り方の検討と、10 周年記念事業について****ところざわ倶楽部会長 稲村 洋二**

第 9 期ところざわ倶楽部の運営方針として、

- ①倶楽部の在り方の検討
 - ②倶楽部創立 10 周年記念事業の計画立案
 - ③サークル活動発表会を開催
- の 3 方針を掲げました。

これに関連して、1 月の理事会で、10 周年記念行事企画委員として 9 名の理事、在り方検討委員として 12 名の理事が担当することになりました。

在り方検討会としては、1 月中に各サークルの現状の調査を行い、2 月の理事会で、その結果を報告し議論のたたき台とすることになっています。

これまで倶楽部は、面での拡がりを会員数の増加という形で実現してきました。しかし、10 年を迎えようとする今、会員の高齢化が、一段と進んできております。

このことにより、活動内容の変化、活動のやり方も変わって来ざるを得なくなっています。

一方、市民大学との意思疎通を深めるために、23 期、24 期の市民大学の企画委員長には、理事として参加いただいています。

昨年の新入会員数は 16 名で、退会された会員数を差し引きますと 30 名の会員減となりました。原因はいくつか考えられますが、驚いたのは 22 期市民大学修了生の中に、倶楽部に対する誤解があったことです。

倶楽部の規約・組織上の課題について、理解が得られなかったといえます。

市民大学修了生に、倶楽部が学習継続のために、魅力的な組織であることを理解していただく努力が必要です。

10 周年事業については、10 年を振り返り、次の 10 年に繋ぐような記念事業にしたいと思います。

会員限定「新春の集い」を楽しみました

事業部 吉田 麗



1月29日(金) 所沢航空公園内「彩翔亭」にて、ところざわ倶楽部主催「新春の集い」を開催しました。冷たい雨が降るあいにくのお天気でしたが、40 数名(内、新入会員 9 名)の参加がありました。彩翔亭の庭には、紅梅白梅の香りがあふれ、18 日に降った雪の残る築山を背景に、しつとりと端唄稲岳流家元 稲岳香乃粋さんの三味線で端唄、小唄を楽しみました。

休憩後は、落語 2 題、水々亭めだか(市民大学 22 期修了生)の『かぼちゃ屋』、シルバー亭道楽(富岡落語研究会会長)の『長屋の花見』でした。

市井のほのぼのとした話に、参加者のみなさんの笑顔がはじけて、心がほっこりしました。

日頃はクラシック音楽を聴くことが多く、生活の一部になっていても、日本の古典芸能に触れることが少なく、身近に聞く三味線での端唄、小唄はとても新鮮でした。もっとこの様な機会が増えればと思います。

落語のなかで、手拭が財布に早や代わり、見事な手つきで小銭を仕舞う仕草は面白かったです。小物をいろんな物に見たてて使う落語はクールです。

演目終了後に、「入会歓迎会」を彩翔亭でお抹茶をいただきながら懇談しました。

新入会員 9 名の皆さんも今日の新春の集いを楽しまれたようでした。



1 月度 理事会報告

総務部長 石堂 智士

1月12日(火) 第2回理事会開催

1. 会長挨拶
理事会欠席の場合、所属サークルから代理出席を要請
2. 総務部案件
 - 1) 1月29日(土)「新春の集い」終了後に、新入会員歓迎会を実施
 - 2) アンケートの実施
サークル代表者へ課題や要望のアンケートを実施し、2月理事会時に報告する
 - 3) 2委員会への理事参加分担決定(欠席者は後日決定)
 - ①10周年(石堂 稲村 二上 長岡 加藤 吉田 本橋 曾部 森野)
 - ②あり方(田口 稲村 石堂 仲山 玉上 当麻 海老澤 中島 岡部 佐藤 中原)
 - 4) 倶楽部会費徴収状況の説明

3. 事業部案件

- 1) 会員限定「新春の集い」
1月29日(金) 彩翔亭で開催する
- 2) 今年のイベント計画 3月講演会、5月27日(金)文化祭 中央公民館(後日再検討、6月8日(水)中央公民館に変更。 追記 広報部)
- 3) サークルにおける「講座」や「講演」を提案

4. 広報部案件

- 1) 広場1月号の報告
- 2) 広場2月号の構成案の説明(締切日厳守)
- 3) 新HPの運用を説明(玉上)

5. その他

- 1) 「活いきシニア福祉の会」主催の講座(2月4日開催)の倶楽部後援を承認
- 2) 次回理事会は2月8日(月)新所沢東公民館

新 HP スタート

全員参加で楽しい情報を共有しましょう！

広報部 玉上 佳彦



本年1月より、ところざわ倶楽部の新しいホームページがスタートしました。

これまで4年間にわたり、岡田俊吾氏が作成・更新されてきたHPを私が引き継ぐことになりました。

岡田氏は、個人のパソコンと個人契約のプロバイダーのサーバーを使い、たいへんご苦労されて、HPを立ち上げてくれました。

今回、私が引継ぐにあたり、ところざわ倶楽部の資産としてHP専用のパソコンとソフトを購入し、有料のサーバーと契約し、ドメイン名の「tokorozawacub.com」を取得しました。これにより、これまで制約のあったページ容量が大幅にアップしましたので、今後、写真や動画なども多く取り入れることが可能となりました。

広報部としては、各サークルの活動記録や倶楽部

の連絡事項などのコンテンツだけでなく、新企画として、「我が家のペット」、「私の趣味」、「思い出の赴任地」、「ボランティア活動」、「私の大好きな写真」などをシリーズとして、掲載していきますので、エッセイも含めて皆様の投稿をお待ちしております。

これまで岡田氏が作られてきたHPを、新サーバーへ移行させるのは、物理的に非常に膨大な作業となります。できる範囲で徐々に移行するようにいたします。昨年末までのページは、岡田氏のご好意で、しばらくそのまま維持していただいておりますので、必要に応じて、「過去のページ」をクリックしてご覧下さい。

尚、これまでのトップページにありましたアクセスカウンターは、サーバーの都合で設定できません。掲示板に関しては、近日中に設置する予定です。

まだ慣れていないため、不行届な点が少々あるかと思いますが、皆様のご指摘やご提案にもとづいて改良していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

わがサークル自慢

超高齢社会がもたらす課題を考える

活きいきシニア福祉の会 中村 修市

私達は、市民大学21期生の仲間です。2年次からのグループワークで、共に、福祉を選択しました。いつかは誰もが必ず通る道だから、少しでも元気なうちにとの思いから、福祉を学びました。

グループワーク発表会も終了し、このままで終わりにするのは勿体ないとの声が沸きあがり、市民大学OB会のところざわ倶楽部に、20番目のサークルとして加えていただきました。

わが仲間は皆、多種多様の趣味を持っており、ほぼ全員が何らかのサークルに複数籍をおき、また、ボランティア等も時間を割いて頑張っています。自由で、ある程度放任主義で、とても素晴らしいサークルです。年の差が多少ありますが、気軽に何でも話せるのが、わが「活きいきシニア福祉の会」の良いところです。「向う三軒両隣」の精神に、福祉の基本があり、共助の原点です。地域・自治会・町内会で協力し、かつ、行政の力も活用しつつ地域高齢者への見守りや安心のネットワークに適した形にして行きたいと思います。

自らが、自立を目指して努力をする「自助」、それを皆で支える「共助」、さらに自立を保障し支えを活かす「公助」、この三つの歯車こそが最も大切に思います。福祉は、けして行政が中心ではありません。市・議員・市職員との連携こそが、市民



の暮らしを良くすると思います。特に、福祉は、これまで他人任せになっていたような気がします。

高齢者の福祉に関する施設への入所、在宅、通所等には、課題が山積しています。2年目の「活きいきシニア福祉の会」は、この辺に、焦点を当てていきたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしております。

わがサークル自慢

歴史はいつもドキドキ・ワクワク

歴史散策クラブ 大河原 功

1月8日は寒い日だった。住職は“お堂は外より寒いので、コートを着たままでいいですよ”とお堂に案内された。一人ひとりが香で清め着座。静寂した暗闇で読経が始まる。時々外からコトン・コロンと音がする。参詣の賽銭の音だ。堂内に太鼓が鳴り、護摩が焚かれパチパチと真赤な炎が上がる。読経は続く。間もなく一人ひとりが須弥壇に向かい毘沙門天に参る、祈祷が済み祈念のお守りを頂く。この間約30分。表に出て、漸く神妙だった顔も次第に和み、皆心の鏡が磨かれたように見えた。今年の会員の健康とサークル活動の安全の初祈祷を多聞院・毘沙門堂で行った。



歴史散策クラブの組織は1〜3班の体制で、各々

班長を置き毎月の例会を班で責任を持って実施している。今回の例会も下見から交渉、資料作成、案内まで3班が担当した。計画は班毎にテーマを決め内容を検討、全体会議、役員会議を経て総会で年間計画が決定される。活動は原則月1回、主に屋外が中心、ほかに特別会員による座学や現地の勉強会などがあり、また、例会とセットで花見、暑気払い、忘年会、食事会など会員相互の親睦を深める会がある。

サークル活動には、楽しさがないと続かない。活動を待つ楽しみ、みんなに出会える楽しみ。コース沿いの庭先に咲く花、四季の移ろいは感受性を磨いてくれる。中世の城館跡には堀や土塁のほか何も残っていない。しかし、思いを寄せれば応えてくれる。歴史はいつもドキドキ・ワクワク、そこにはロマンがあり、新しい何かを発見することができる。

それが歴史散策クラブです。

<活動はブログで紹介しています。>

わがサークル自慢

日本の古典文学と古典芸能をたのしむ

葵の会（広報委員） 島川謙二

『葵の会』は第16期の2年次に「能と源氏物語」を学んだグループが立ち上げた「日本の古典文学と古典芸能をたのしみ、潤いのある人生をおくりたい」と願う会員のサークルで、現在34名が所属しています。今年はナント22期生が7名も入会しています。

今まで顧問の小川達雄先生のご指導で、古事記、万葉集、源氏物語、平家物語、徒然草、日本永代蔵、世間胸算用、宮沢賢治などの文語体原文をみんなで「声を出して」読み作品の調子、雰囲気を感じながら先生の講義を受けています。今年の最初は方丈記です。今、文語体の文章のすばらしさが再評価されています。

講義のほかDVDによる歌舞伎の鑑賞、国立能楽堂での能の観賞や、「秩父札所巡り」を7回やって満願成就。初春から晩秋の秩父の美しい自然をたのしみ、美味しい蕎麦を食べ祝杯をあげ、一緒に歩いたなか

まへの感謝をお互い感じあいました。さらに「日本文学散歩」で桜や紅葉を愛でながら神楽坂、九段、田端、巣鴨を歩きましたが、今年は早稲田、馬込を歩く予定です。バス旅行で富士山麓の富士芝桜まつり・浅間神社へ出かけました。もちろん暑気払い、新年会のほか講義の後など、男子会、女子会も随時開かれています。



1月21日には平成28年の新年会、総会、新入会員歓迎会を三ヶ島の「梅の花」で行い、懐石料理をいただきながら自己紹介、ジョークのトークショーもあつ

て盛り上がりました。

「よく学び、よく遊ぶ」葵の会は、ところざわ倶楽部のなかでもユニークなサークルの一つです。

どうぞご入会ください。

「私にとっての昭和」
第2回

半生の記 ～幸いなるかな昭和～

野老澤の歴史をたのしみ会 佐藤 八郎

生い立ち

私は昭和18年10月8日、男ばかりの5人兄弟の末弟として生まれた。5番目なのに八郎と名付けた理由は親に聞いたことはない。勿論、詩人のサトーハチローとは何の関わりもない。5人兄弟だが次男は一歳、三男は四歳で亡くなった。今、思うに二人の息子を相次いで亡くした両親は十数年本当に辛い気持ちで過ごしたに違いない。幸い四男と私が生まれ、今に永らえている。

生まれは房総半島のほぼ中心に位置する松丘村（現君津市）である。私が暮らしていた頃と今も大きく変わっていないのは驚きだ。住民は減りつつあるが猿や猪に鹿等が出没し、住む人を悩ませている。近頃は墓参りに帰る程度だが、その原風景は最近始めた俳句の句材に大いに役立っている。

学びの時代

小中学校へは約2kmを通った。担任の先生の宿直の晩一緒に泊まり夜の学校の見回りをやった恐い思い出も懐かしい。戦後民主教育を云々する向きもいるが自分にとっては悪くない時代であった。僅か110人の同窓生はお互いをよく知っており、最近では2年に一回の同窓会を楽しんでいる。

生家は専業農家だったので三食白米だけは食べられたが一汁一菜が基本であった。肉はハレの日に卵を生まなくなった鶏を親が料理していた記憶がある。秋になると銚子から秋刀魚の大安売りが来てバケツ一杯買い、朝夕は当然弁当にも入っていた。又、家の近くの川でよく魚を捕ったりもした。その頃の我が家は祖母と両親、兄夫婦と姪3人、二歳年上の兄と私の10人家族であった。無論私も重要な働き手で農作業の手伝いや洗濯と炊事以外は何でもやった。

母は私が中学3年の時に52歳で亡くなった。3年後に祖母も亡くなった。母によく聞かされた幼い兄の死、結核で夭逝した伯父と昭和は身内の死が身近なものであった。

母の突然の死はあったが幸い高校に通うことが出来た。高校は自由な校風での上、男女共学になったばかりで楽しい3年間であった。しかし通学は大変で朝6時15分に家を出て駅まで30分歩く。更に1時間に1本の電車に約1時間乗りようやく木更津駅に到着、駅から15分程歩いて学校だから、毎日遠足のようなものである。思

えば今に繋がる良き師、友人に恵まれた学校生活であった。

社会人へ

昭和37年高校を卒業と同時に証券会社に入社した。「証券よコンニチワ、銀行よサヨウナラ」とはやされていた時代だったが、田舎出の若者にはかなり厳しい業務の連続であった。結局4年半、こと志とは異なり退社した。

20代前半の3年間は親を大いに心配させた。時には塀の上を歩いたこともあったが、内側に落ちずに外側に降りることができたのは幸運以外の何物でもない。世は「イザナギ景気」に沸き立っている頃で、職を得たOA機器会社が時代の流れに乗って拡大に次ぐ拡大をした。さしたる能力も無い私も若干の山や谷はあったが、幸いにも生き抜くことが出来た。大半の業界が拡大する時代ではあったが、少しでもライバル企業に差をつけるべく教育に熱心な時代でもあった。私も随分研修に参加し聞きかじりの知識を人前で語っていたのを思い出すと思わず赤面してしまう。この辺は作家デビュー前の藤沢周平が編集長をしていた「日本加工食品新聞」のコラムに収録した「甘味辛み」（文春文庫）を読むと頷かされることが多い。

結婚は昭和45年、奇しくも記念日は3月11日である。息子4人（一人は独身）にお嫁さんは3人、孫5人と私達夫婦で14人の家族になったのは望外の幸せであり、実に昭和のお蔭である。

昭和52年8月17日、無類の酒好きの父が1週間の入院後、76歳で亡くなった。

昭和62年暮、家を建て直したが、その1年後、昭和は平成に改元された。

我が郷

故郷の小さく拙き初音かな

耕しや家それぞれに農暦

草刈りを終えてやうやう朝餉かな

単線の呑まれるごとし青田波

隧道を抜けて我が郷山滴る



鹿野山



菜の花

「出会い」シリーズ第8回

思い出のモンサンミッシェル

葵の会 竹内 寛

一通の手紙



昨年 3 月下旬、知人の洋画家より 1 通の速達が届いた。

便箋 4

枚に綴られた内容は、初めて出会った仏・モンサンミッシェルの絵「憧憬モンサンミッシェル」(10号M)が出来上がり、絵の写真を同封する。前々から、モンサンミッシェルの絵が完成したら、是非私に見て欲しいと思っていた。記念にどうですか。願わくば、この絵を見て、若き日のモンサンミッシェルでの事象を懐かしみ、心を安らいで頂けたら誠にうれしい、との事だった。もし気に入って頂けたら電話して欲しい。好みに合わなければ、作品の写しを添付の封筒で投函頂ければありがたい。市場価格は1号8万円だが、特別価格で売却すると。

研修先での出会い

出会いの日(昭和48年秋)から42年が経過し、思い出すと涙が出るほど懐かしいと書いてあった。その時彼は34歳、私は27歳だった。当時、私は会社の海外研修制度でパリに滞在し、他社の研修生と週末を利用してモンサンミッシェル観光に行った。島へは対岸から地続きの道路が作られ、歩いて渡れたが、満潮時には渡れないと言われていた。フランス有数の観光地の為、島は大勢の観光客で賑わっていて、ホテルの当日予約を取るのに苦労した。修道院を見学した後、夕食時にレストランで名物のオムレツを食べていた時、隣のテーブルに彼がいた。話を聞くと、ヨーロッパ各地をスケッチブック片手に取材旅行中との事だった。大きな展覧会で賞を取ってスポンサーの画商が付き、約1か月の旅費の面倒を見てもらい、一生懸命スケッチをしていると言った。

彼は、島ではホテルの予約が出来ずに困っていた。我々もホテルの予約で苦労した為、大いに同情し、彼の宿探しを手伝い、2、3軒断られた後、やっとのこと1軒の宿に空き部屋を

見つけた。もし、宿を見つけられなかったら、夜の孤島で帰りの足もない中、大変な困難に陥ったであろうことは想像に難くない。

翌日、島内を観光中画家と再会し、帰りのバスと一緒にになった。駅に向かう登坂でバスの窓越しに、遠ざかるモンサンミッシェル島が少し見えたが、短時間のことだった。駅に着いてから、彼が1枚のスケッチを見せてくれた。それはバスの車内から見たモンサンミッシェルだった。あの短い時間に見えただけの風景を正確に切り取って描いた画家の技量に驚かされたのは言うまでもない。帰りの電車内で、住所交換をし、後日の再会を約した。

帰国後の交流

帰国後3年目位に、京展初出品作の案内を頂いた。それはベニスの風景で、運河に架かる橋と街並みがパステルで綺麗に描かれていた。その後、毎年のように出品展覧会の案内を頂いたが、関西方面が多く、見に行く機会が無かった。そして、昭和会賞受賞の翌昭和56年、銀座日動画廊にて初の個展が開かれ、会場で再会することになった。その後2、3年ごとに日動画廊で個展が開かれ、案内状が届くたびに出かけて行き、会える時もあったが、昔話をするほどの時間はなかった。彼の作品は写実的ではあるが、ロマンがあふれ、詩情が感じられる。私はすぐに彼のファンとなった。買いたいと思う絵は2、3あったが、高くて手が出なかった。昭和63年、日本橋有美画廊で新作小品展があり、思い切って6号の作品「加賀路快晴」を買い求めた。知人だと言ったら2割引きしてくれた。

その人の名は？

平成2年には三越本店で個展があり、小学生の息子を連れて見に行き、奥様に初めてお会いした。しかし、平成3年の日動画廊の個展を最後に案内状が来なくなり、賀状交換をするだけになった。今回の申し出を受けるかどうか迷ったが、腹を決めて購入することにした。電話して昔話をする、彼は感激し、更に値引きすると言ってくれた。現在、リビングに飾って、毎日眺めている。彼の名は武本はる根、在日韓国人だったが、出会ったときは日本に帰化すると言っていた。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

2月17日(水) 定例会 13:30～16:30 中央公民館
最近の中国情勢を考える。チベット問題 DVD 視聴。
3月16日(水) 定例会 13:30～16:30 中央公民館
これからの台湾－中国関係について考える。

傍聴席（高垣 輝雄 2926-7164）

2月15日(月)学習会、14時～新所沢東公民館
市議会事務局による出前講座、他市から視察に押し掛ける
「所沢市議会基本条例」を学びます。
(詳細は倶楽部の HP をご覧ください)

地域の自然を考える会（海老澤愛之助 2922-0259）

2月23日(火)定例会 10時～ H口12号地

地球環境に学ぶ（塚本 二郎 2942-3117）

2月16日(火)定例会 9時～ 新所沢東公民館
石坂産業見学打合せ＊所沢の自然と農業サークル共催
3月15日(火)定例会 9時～ 新所沢東公民館
3月31日(木)石坂産業見学「環境学習」実施

楽悠クラブ（福田 晴男 事前連絡は不要）

2月9日(火)「グスタフ・マーラー」を知る・聴く
ブルーノ・ワルター指揮「交響曲第1番」、ほか
3月15日(火) ボロディン 歌劇「イーゴリ公」他
いずれも、13:15～、中央公民館 #□ 8,9 学習室

歴史散策クラブ（大河原 功 2943-2004）

2月3日(水) 宝登山の蜷梅
集合：所沢駅2階改札内 9:20
3月12日(土) 赤塚の遺跡を歩く
集合：所沢駅2階改札内 9:00

北欧の会（樋口 俊夫 090-6483-7993）

2月27日(土)第65回例会 13時20分～
DVD鑑賞 持ち寄り学習 他
3月26日(土) 第66回例会 13時20分～
新所沢東公民館

地域の自然（宮脇 正 090-9847-4585）

2月13日(土)早稲田大学B地区
調査地保全活動 畑の整備 9:00～
2月27日(日)みどりの森博物館 所沢市域
雑木林 保全活動 9:00～

所沢の自然と農業（清水 仁一 2944-8835）

2月11日(木) 13:00～定例会 場所未定
3月3日(木) 13:00～定例会 新所沢公民館
3月31日(木) 13:00～石坂産業見学「環境学習」実施
＊地球環境に学ぶサークルと共催

ドラマティック・カンパニー（佐藤 滋 090-1540-0161）

2月6日(土) 10:00～12:00、2月20日(土)10:00～12:00
3月12日(土) 9:30～11:30、3月26日(土)10:00～12:00
2月20日は中央公民館、他は新所沢東公民館、「テンペスト」を読み進めます。シェイクスピアを楽しく深く学べます。

葵の会（池田新八郎 2940-0711）

2月18日(木) 古典講座「方丈記」第2回
中央公民館 13:30～16:00
3月6日(日) 能楽鑑賞会（狭山市民会館ホール）
3月10日(木)古典講座「方丈記」第3回 中央公民館
野老澤の歴史をたのしむ会（大山 豊 2993-0818）
2月4日(木) 市民大学 GW 発表 9:00～13:00
中央公民館
2月13日(土)「所沢の旗本の支配した知行地」講座
時刻未定、中央公民館

ところ会（居田 治 2903-8400）

2月19日(金):佐原町並みを巡り・
伊能忠敬記念館/旧宅を見学する
3月11日(金):旧中山道を歩く、巣鴨 板橋 志村一里塚
4月1日(金):桜街道のさくらと森永乳業工場見学他

懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）

2月9日(火) 10時～12時30分 西新井町公民館
■邦画「抱かれた花嫁」(57年)有馬稲子・望月
2月23日(火) 10時～12時30分 西新井町公民館
■洋画「ある愛の詩」(70年)ライオン・オニール アリ・マン

民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）

2月9日(火)10:00～12:30
所沢市南小学校で「民話を語る会」
2月19日(金)10:00～12:30 定例会 中央公民館
文化祭参加に向けて、演目検討と民話読み合せ

食を通して所沢を知る会（吉田 麗 2939-9662）

3月2日(水)10:00～12:00 栄西禅師とお茶の歴史(入間
博物館・小田部学芸員)講義 フラット
＊興味のある方は参加お待ちしております。

みんなで学ぼう認知症（本多 義博 090-3144-1438）

2月22日(月)13:30～ 特別養護老人ホーム「真和の森」
見学及び講習会 講師：理事長岡田京子氏
内容：介護現場から見た認知症の現状・介護保険改正の
問題点その他

所沢シニア世代地域デビュー支援の会（田口 元也 090-9820-5668）

2月9日(火)13:30～15:30 定例会
・議題 ①新年度活動計画検討
②新地域デビュー講座、冊子等企画案など
所沢中央公民館1階学習室

活いきシニア福祉の会（中村 修市 090-1616-6733）

2月24日(水) 10:00～12:00 定例会
テーマ 出前講座の感想及び反省
場 所 生涯学習推進センター コミュニティホール

広報部

2月25日(木) 「広場」3月号原稿締切日
3月11日(金) 「広場」3月号編集会議、発行日

【私の健康法 第33回】

趣味中心の生活で健康維持

楽悠クラブ 荒木 洋哉

健康法と言えるかどうかかわからないけれど、20年程前、歩くのは楽しいという友人に習って航空公園を歩き始めたのがきっかけで、現在は自宅から米軍通信基地の周回道路約6キロをほぼ毎日歩いている。



毎日とはいっても実際には外出する日や雨の日には歩かないので平均すると週4～5日ぐらいだろうか。歩くことがそんなに楽しいわけでもないが、聞きたいラジオ放送や音楽の録音を聴きながら歩いている。なんとなく体調が良いような気がするし、晩酌のための言い訳にもなっている。

昔、洋弓をやっていた頃に腕や肩を鍛えるために毎朝行っていた腕立て伏せ 50 回と軽いストレッチは今もまだ続いている。

たばこは 40 年近く前にやめたが、上記以外特別な健康法やサプリメント等はやっていない。他に体を動かすこととしては時々ゴルフの練習やコースに行くぐらいで、あとは楽器を奏いたり旅行をしたり、音楽を聴いたりといった趣味中心の生活をしている。

幸いなことにいまだ病気や怪我で入院したことはない。あまり風邪も引かないが最近はやっとしたこと足腰や肩が痛くなったりと、無理が利かなくなってきた。年のせいで仕方がないことだが、何とかこの程度の状態を維持してゆきたいと思っている。



むさし野俳句会（二十八年一月）作品抄



縮む背を反り返したり初日の出
除夜の鐘秘境の地にも日本人
読み初めや寂聴源氏三ページ
冬夕映湖に影濃き富士の山
元氣かと傘寿の兄の初電話
読初の防人の歌身に響く
口開けて立話する獅子頭
読初のこころにくゝも 往生伝
読初や銀河鉄道動き出す
読初の母の歌集や「道」の章

佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋 三加子
高光 泉
利根川 啓一
中嶋 弘子
中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子

つつしみつ俳誌「むさし野」読始
凍星や夜遅く来る宅配便
新玉や梨園の妻の耳飾り
女正月地元にかかる落語会
読み初めていつか朗読新体詩
読初は火垂るの墓の読み聞かせ
初日さす入試真近の子の窓に
悴める指もて妻のボタン嵌め
読初めや一書の重み手にのせて

荒幡 千鶴子
飯泉 陽子
井出 昇
海老澤 愛之助
粕谷 のぼる
河瀬 俊彦
小林 貞夫
小林 典子
鈴木 征子

《 編集後記 》

▼「カメラは足し算、写真は引き算」といわれ、写真をうまく撮るための基本を示す言葉だそう。「足し算」とは、レンズやストロボ等の付属品も含めたカメラの機能で、足せば足すほど、さまざまな状況の変化に対応でき、思い通りの撮影が可能になる。「引き算」とは、シャッターを切る際、不要なものがフレームに入らないようにすること。余計なものを引いたぶん、「本当に写したいもの」が際立つそう。「ふーん」 そうなんだ。

▼文章も「足し算」が不足すれば中身が薄くなり、「引き算」ができないと、情報が多すぎて分かりにくいそう。▼「頭が痛くなってきた」、なんだかんだのテクニックも重要かもしれないが、考え過ぎも如何なものか。

私は、素直に写し、素直に書けば、相手に伝わっている。（仲山）

「広場」問い合わせ 仲山 富夫 (090-3902-0283)

川柳⑥

課題「酔う」

作品発表

中島 肇 選

酔うほどに上司饒舌部下黙る 自慢話
酔ってないよ口で言いつつ肩に手を 海さとる
翌朝に財布調べて酔いがさめ 庵閑子
二日酔いまだ懲りずに古希迎え 飲兵衛
飲んでやる割り勘ならば二合瓶 瞬間湯沸かし器
飲み放題時間と勝負子うわばみ 方声

「自由句」

豆まいて年を取ったと苦笑い 瞬間湯沸かし器
アラモ砦心の隅にもっている 海さとる
飲むほどに今年の誓い遠さかる 庵閑子
雪道を忍者歩きでこぼうぬき 雪国育ち
無いくせに歴史認識迫る国 歴史偽造

お題「ミカン」又「自由」 2月20日担当中島まで

宛先 mh-naka@com.home.ne.jp

FAX04-2928-1161

特別版

第 9 期ところざわ倶楽部

新入会員紹介

平成 28 年度第 9 期新入会員（市民大学 22 期修了）の 16 名の方をご紹介します。それぞれ多様な人生経験を積み、個性的な方々です。ところざわ倶楽部も間もなく 10 周年を迎え、各サークルとも地域の中に根付き、所沢の生涯教育活動の中で大きな役割を果たしています。新入会員の皆さんが新しい血を導入し、今後さらに大きな力になっていただけるものと活躍を期待します。



粕谷 眞

(葵の会・野老澤の歴史をたのしむ会)

出身地：所沢市

趣味：囲碁・社交ダンス

私は所沢市に生まれ育った希少な人間で、70 余年住んでいます。理科系の道歩んだため、市民大学の講義を聞いているうちに、今まで縁の薄かった古典や歴史を無性に勉強してみたくなったのがサークル入会の動機です。



金澤 正夫

(食を通して所沢を知る会)

出身地：大分県

趣味：釣り

市民大学を修了して、これから皆さんといろんなことを学び、またいろいろなサークルに入り活動していきたいと考えています。



黒田 猛

(楽悠クラブ)

出身地：横浜

趣味：クラシック音楽・野菜作り

1 年次笠松先生の音楽講座を受講し、しばらく遠ざかっていたクラシック音楽をまた聞き始めました。月 1 回のペースであれば毎回出席できると思い入会しました。サークルの皆様よろしくお願ひ致します。



坂元 重孝

(葵の会・所沢シニア世代地域デビュー支援の会)

出身地：秋田県能代市

趣味：山登り・マラソン

昭和 28 年 4 月 1 日生まれ。まだ現役でケアマネージャーとして働いています。サークル活動には出来るだけ時間を作り、積極的に参加したいと思っています。よろしくお願ひ致します。



高橋 信行

(葵の会・ドラマティック・カンパニー)

出身地：埼玉県

趣味：音楽鑑賞・読書

市民大学を通していろいろな方の知己を得て親交を結びました。このまま終わるのはもったいなく、趣味のサークルで絆を深めていきたいと思っています。



西郡 貢

(所沢の自然と農業)

出身地：滋賀県

趣味：写真

私自身営農することは困難であるが、農業サポーターとして活動することが出来、その一環として、サークルとその関連の市民大学ファームに参加し、地産地消することが活動動機です。



平野 幸子

(葵の会)

出身地：北海道芦別市

趣味：カラオケ

葵の会の会員の方が、22 期の 1 年次に能の見学に連れて行ってくれました。皆様と能の鑑賞が出来ました。1 月より方丈記の講座が始まり、当時の災害や生活を学べるため、興味津々です。



福田 武城

(活いきシニア福祉の会)

出身地：石川県金沢市

趣味：山登り・旅行・川柳

何をするのか抱負は未だありません。傍聴席のような硬派の活動にも興味があります。24 期の企画委員の目途が付いた時点で決めたいと考えています。

(2) 平成 28 年 2 月 5 日 ところざわ倶楽部「広場」特別版

 松崎 晃 (所沢の自然と農業) 出身地：東京都昭島市(山形県小国町生まれ) 趣味；家庭菜園・街歩き 2 年次に「日本の農業」を選択した続きで「所沢の自然と農業」に入れてもらいましたが、行事への参加はあまりできていません。少しでも増やすよう努力していきます。	 水上 俊彦 (葵の会) 出身地：山梨県甲府市 趣味：ジョギング・読書 他県から移り住み、市民大学 22 期に在籍して所沢を知ることが出来、これで所沢市民に加えてもらったと感じています。
 矢原 あきら (楽悠クラブ) 出身地：愛知県名古屋市長古市 趣味：クラシック音楽・ピアノ・読書・コーラス・クイズ 昭和 27 年、上京して聴いた「ハイフェッツ」のヴァイオリン演奏会が忘れられません。恵まれた世の中になり、音楽に囲まれた平和な世の中で生活できることを本当に幸せだと思います。	 渡辺 昌一郎 (新サークル「演芸」立ち上げ検討中) 出身地：東京都板橋区 趣味：カメラ・オカリナ・落語 ライフワークの中心は育爺。現在 4 年目で 5 歳の孫の保育園送り迎え、お風呂等々。可愛い孫の成長を見守っていききたい。空いた時間を利用して、趣味を生かした地域活動を楽しんでいます。
 渡辺 由美子 (葵の会) 出身地：静岡県御前崎市 趣味：里山(野山)歩き 22 期の市民大学では、素晴らしい方々と出会えて、私の人生にとって貴重な 1 年半でした。この市民大学を足掛かりにして、また皆さんとのこれから楽しいつながりを期待しています。よろしくお願い致します。	 上村 恭代 (野老澤の歴史をたのしむ会) 出身地：神奈川県横浜市 趣味：読書・ハイキング・旅行 所沢を知ろうと「所沢地域史」を学び、継続するためにはサークル参加と考え入会しました。最近、一人暮らしの暇人と認識され、旅行に誘われることが多く、「良く遊べ」の方が優先事項となっています。
 崎田 實枝子 (葵の会・ところ会) 出身地：宮城県石巻市 趣味：ウォーキング・読書 以前から興味がありました「文学講座」と「歴史を訪ねる会」がところざわ倶楽部にあり入会を決めました。誰の作品を勉強するのかな、どこを歴史散策するのかなと、今から楽しみにしています。	 中村 博昭 (ドラマティック・カンパニー) 出身地：長野県飯田市 趣味：音楽鑑賞・囲碁・俳句・ゴルフ 2 年次は音楽グループで学び、同じ笠松先生の指導している朗読サークルに加入しました。歴史的背景など先生から聞くのが楽しみです。棒読みの段階ですが皆さんについていけるよう努めていきます。

◆ 新入会員歓迎懇親会開催 ◆

1 月 29 日(金) 彩翔亭で「新春の集い」の後、新入会員と理事との懇親会を開催。会長、総務部、事業部、広報部の各部長が倶楽部の役割、方向性について説明、新入会員からも質問が出され、和やかな交流会となりました。新入会員 9 名参加。



▲落語を披露 水々亭めだかこと新入会員、渡辺昌一郎さん